

水彩画教室「川浦の秋」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

高崎市は平成に入ってから 榛名町・吉井町・群馬町などを次々と合併し 現在は東西に細長い形で 端から端まで一般道で1時間半もかかります その高崎市の一番西側にあるのが 旧倉淵村の川浦地区です 北軽井沢から高崎市街に抜ける道で 最初に現れる集落です 私は川浦の秋の風景が好きです 時々安全な場所に車を停めて 運転席から描くことにしています



これが完成した絵です



1、空はグラデーションで 雲は白のパステルで描きます 遠い(地平線に近い)雲ほど小さく描きます



2、この樹はたぶん山桜でしょう 葉は 黄・橙・黄土・セピア(こげ茶)などで重ねていきます



3、道端の素朴な造りの民家 手前の壁に陽が当たっていると意識して描きます



4、風で葉が散る様子 少ないと散っている様子がわからないし 描き過ぎるとわざとらしくなってしまいます



5、道端の落葉 枝に残った葉よりも 少し濃い色で描きます



6、路面に落ちる「電線」の影です これも「陽射し」と「遠近感」を表現する 大切な材料です